

令和2年度事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報													整理番号	035					
事務事業名	空家対策事業経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業			
担当部	都市建設部	担当課	都市計画課		担当係	住宅・空家対策係										8	4	1	9
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市空家等対策計画)					根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 空家等対策の推進に関する特別措置法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称: 常総市空家等対策の推進に関する条例)												

2 事務事業の概要																
☞ 予算事業全体について記入して下さい。																
対象	空家等の所有者, 相続権利者や空家等の利活用を検討している方															
目的	・空家を減らすことで, 地域の景観や生活環境の保全が図られる。 ・空家を利活用して, 移住・定住の促進及び地域の活性化を図る。 ・個人の財産を扱うため, 法的根拠に基づいた制度の確立と業務の執行が必須となる。															
内容・手段	①法や条例に基づいた空家等の適正管理や問題の改善に向けた行政指導, 改善されない場合の行政代執行を実施する ②空家等バンクについては, 空家等の購入または賃貸するものに対して, 購入費や改修に要する経費に助成金を交付する															

3 事務事業の主たる成果指標																
☞ 数値目標の設定が困難な場合は, 文言目標でも結構です。なお, 設定が困難な事業は空欄とし, 設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。																
指標名	空家数の減少	単位	件	目標値	200	目標年次	令和4	年度	指標及び目標値設定の考え方 (または設定できない理由)	空家等の件数を減らすことが具体的に簡単な指標として最適と考える						

4 事務事業の実績 ①																
平成29年度																
決算額	円	内訳	特定財源	円	2年間の主な事業内容(実績)											
			一般財源	円	前年度(平成30年度)	今年度(令和元年度)										
目標に対する実績値				件	防犯対策経費(02-01-14-04)で実施 ①空家等の現地調査, 所有者等に関する調査(定期的なパトロールを実施) 270件 ②空家等の適正管理に関する指導 270件 ③空家対策協議会の運営 2回 ④特定空家等に対する措置等 ・特定空家等の判定業務 2件 ・特定空家等の所有者への改善措置(助言, 指導・勧告・命令) 2件 ⑤空家の利活用に関すること ・空家等バンク制度の周知を図る (市HP及び提携団体HPのPR強化を図る) ・空家等バンク登録物件及び利用希望者登録の受付 7件 ・空家等バンク登録物件への交渉申込みに対する対応 ⑥空家等相談会の開催(定期的に開催する) 1回											
(住民一人あたりの行政コスト)				円												
平成30年度																
決算額	円	内訳	特定財源	円												
			一般財源	円												
目標に対する実績値				件												
(住民一人あたりの行政コスト)				円												
令和元年度																
決算額	円	内訳	特定財源	円												
	349,760		一般財源	349,760												
目標に対する実績値				234												
(住民一人あたりの行政コスト)				6												

5 担当課評価 ②		☞ 実施したことによる成果や課題を記入してください。
成果	目標未達成	
成果内容分析	空き家は個人の財産であり, 解体等するにも多大な費用を要するため, 空き家解消には短期間での解決は難しい。	
課題	・農地付きの空き家などの需要のある空き家をバンク等で紹介できる (所有者に登録してもらう)体制の構築が必要 ・利用目的が無いと進んで空き家を解体する意識が低いため, 利用したいと考えている所有者以外の方への働きかけ(動機付け)の検討も必要である。	

6 担当部長評価 ③		☞ 担当部長で協議のうえ, 評価してください。
事務事業の方向性		
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
評価理由	相続や遠方居住などの理由で長期間放置される場合や経済的な理由で所有者等自らによる解体等が困難なケースが増えていることから, 市が近隣住民等と面識のない所有者等に代わり「解体費用+登記費用程度」で空き家の買取りを働きかける取り組みは有効であると考えます。また, 農村地域での農地付き空き家の取得により移住を促進するためにも, 「既存住宅活用農村地域等移住促進事業計画」を早期に作成する必要があるため拡充とする。	

7 実施計画 ②																			
☞ 今後3年間について, 何を・どの程度実施していくか具体的に記入してください。なお, 予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																			
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度								
事業内容	①空家等の現地調査, 所有者等に関する調査, 定期パトロール ②空家等の適正管理に関する指導 ③空家対策協議会の運営 ④特定空家等に対する措置等 ・特定空家等の判定業務 ・特定空家等の所有者への改善措置(助言, 指導・勧告・命令) ・特定空家等の行政代執行に係る事務 ⑤空家の利活用に関すること ・空家等バンク制度の周知を図る(市HP等でのPR強化) ・空家等バンク登録物件及び利用希望者登録の受付 ・空家等バンク登録物件への交渉申込みに対する対応 ・空家等バンク活用支援補助金制度の周知を図る ・空家等バンク活用支援補助金の受理・審査・交付 ・社会資本総合整備補助金の申請検討 ⑥空家等相談会の開催(定期的に開催する) ⑦空家総合対策支援事業の検討・実施 ・空家除却後の跡地利用 ・空家の利活用					①空家等の現地調査, 所有者等に関する調査, 定期パトロール ②空家等の適正管理に関する指導 ③空家対策協議会の運営 ④特定空家等に対する措置等 ・特定空家等の判定業務 ・特定空家等の所有者への改善措置(助言, 指導・勧告・命令) ・特定空家等の行政代執行に係る事務 ⑤空家の利活用に関すること ・空家等バンク制度の周知を図る(市HP等でのPR強化) ・空家等バンク登録物件及び利用希望者登録の受付 ・空家等バンク登録物件への交渉申込みに対する対応 ・空家等バンク活用支援補助金制度の周知を図る ・空家等バンク活用支援補助金の受理・審査・交付 ・社会資本総合整備補助金の申請検討 ⑥空家等相談会の開催(定期的に開催する) ⑦空家総合対策支援事業の検討・実施 ・空家除却後の跡地利用 ・空家の利活用					①空家等の現地調査, 所有者等に関する調査, 定期パトロール ②空家等の適正管理に関する指導 ③空家対策協議会の運営 ④特定空家等に対する措置等 ・特定空家等の判定業務 ・特定空家等の所有者への改善措置(助言, 指導・勧告・命令) ・特定空家等の行政代執行に係る事務 ⑤空家の利活用に関すること ・空家等バンク制度の周知を図る(市HP等でのPR強化) ・空家等バンク登録物件及び利用希望者登録の受付 ・空家等バンク登録物件への交渉申込みに対する対応 ・空家等バンク活用支援補助金制度の周知を図る ・空家等バンク活用支援補助金の受理・審査・交付 ・社会資本総合整備補助金の申請検討 ⑥空家等相談会の開催(定期的に開催する) ⑦空家総合対策支援事業の検討・実施 ・空家除却後の跡地利用 ・空家の利活用								
	成果指標	指標名	空家数の減少	単位	件	目標値	220	指標名	空家数の減少	単位	件	目標値	210	指標名	空家数の減少	単位	件	目標値	200
	予算額	歳出	計			6,233	千円	歳出	計			12,000	千円	歳出	計			12,000	千円
			特定財源				千円		特定財源			1,000	千円		特定財源			1,000	千円
歳入		一般財源			6,233	千円	歳入	一般財源			11,000	千円	歳入	一般財源			11,000	千円	
		計			6,233	千円		計			12,000	千円		計			12,000	千円	

8 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長評価のとおりでよい。 今後も空き家は増加傾向にあると考える。物件ごとに対策は異なるが, 空き家を宝と考え市外へのPRを強化していただきたい。更なる有効なアイデアの創出を期待する。	

9 最終評価(行政改革推進本部) ④	
事務事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	特定空家は地域の住環境に悪影響を及ぼすことから早急な改善が必要である。利活用可能な空家は二地域間居住体験や田舎暮らし体験・リビングシフトなど多様な施策を講じて移住促進を図りたい。

10 事務事業の改善点と理由 ⑤	
☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。	
事業内容	